

「花の首飾り」

まちづくり協議会 メンバーを募集します



1960年代のグループサウンズ（GS）ブームをリードしたバンド「ザ・タイガース」のヒット曲「花の首飾り」の作詞者が八雲町出身者であることをご存じですか？

歌詞は、集英社が発行している月刊誌「明星」の昭和43年1月号および2月号で「ザ・タイガースの歌う歌」として懸賞募集され、13万543通の応募の中から当時19歳の八雲町在住の女性が作詞した「花の首飾り」が選ばれました。「花の首飾り」は、昭和43年3月にリリースされ、68万枚を売り上げた「ザ・タイガース」を代表するヒット曲となりました。

平成25年12月に「ザ・タイガース」のメンバー「瞳みのる」氏が「花の首飾り」の誕生秘話などを紹介した「ザ・タイガース 花の首飾り物語」を発行、「花の首飾り」を活用して「町おこし」が可能であり、協力したい旨の申出があったことから、八雲町としても、町の新たな魅力の創出のため「花の首飾り」をまちづくりの一つの資源として活用していきたいと考えています。

つきましては「花の首飾り」を活用した町の振興策を検討する『「花の首飾り」まちづくり協議会』を設立することといたしましたので、下記のとおりメンバーを募集します。

なお、平成26年度には「瞳みのる」氏と「花の首飾り」の作曲者である「すぎやまこういち」氏が来町し、東京都交響楽団を代表するトッププレイヤー5名で結成された「東京メトロポリタン・ブラス・クインテット」八雲公演の開催を計画しており『「花の首飾り」まちづくり協議会』がその主催団体となり運営することを予定しています。

【応募できる方】 八雲町にお住まいで、まちづくりや音楽に興味のある方

【募集人数】 10名程度 **【応募期間】** 4月1日（火）～4月25日（金）

【報酬】 無報酬

【申し込み・問い合わせ先】 企画振興課企画係（内線378）



ちよつと

知ってね！総合病院

私たちの知識が、
お役にたてれば嬉しいです

『出勤！
リハビリ
解決団！』



理学療法士
小岩江里子

私達は、病気や怪我で動作が出来なくなった時に、楽に動けるようにするためのリハビリの仕事をしています。広い場所で段差もなく動く時に邪魔になる物もないリハビリテーション室は、入院している病室とは違うため「リハビリテーション室では、出来るのに病室では出来ない。」という悩みをたくさん聞いてきました。そんな悩みを解決するために「リハビリ解決団」を結成しました。

「リハビリ解決団」は入院しているすべての患者様が、病室でもリハビリテーション室と同じように、安全にかつ楽に動けるようになるための活動をします。具体的には、患者様が握りやすいスプーンを作ったり、自分で食べられるようにしたり、安全に車椅子に乗り降り出来る方法を、患者様と病棟のスタッフに伝授するような事です。

これからもリハビリテーションの知識や技術によって、一人でも多くの患者様が快適に入院生活を過ごして頂けるよう力になりたいと思いますので、お困りの際はぜひ「リハビリ解決団」にご相談下さい。